

教科 (理 科) 科目 (物理) 学年 (2) 單位数 (2)

類型（理）

履修規定（ 選択 ）

学習の目標			使用する主な教材				
1 物理基礎との関連を考慮しながら物理の基本的な概念の形成を図り、科学的な思考力、判断力、表現力を身に付ける。			・教科書『改訂版 物理』 数研出版				
2 実験、観察を通してデータを科学的に分析する方法やレポートの作成方法など自然を科学的に探究する能力を身に付ける。			・『セミナー物理基礎＋物理』 第一学習社				
			・『物理基礎・物理実験ノート』 高教研理科部会物理部門				
			・資料プリント（補充問題）				
期	月	学 習 内 容	学 習 の 具 体 的 内 容 と ね ら い	主な評価の観点			
				①	②	③	④
一 学 期	4						
	5						
	6						
	7						
二 学 期	8	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 第2章 剛体 第3章 運動量の保存 第4章 円運動と万有引力	・身の回りにある、カーブを曲がる自動車、弧を描いて飛ぶ打球など、平面内の運動の表し方について学ぶ。 ・大きさが無視できない剛体の、力のつりあいや力のモーメントのつりあいについて学ぶ。 ・物体に加わる力が与える力積や、力による運動量の変化、保存について学ぶ。 ・円運動における運動方程式や万有引力による惑星の運動の規則性について学ぶ。	◎	○		
	9						
	10						
	11						
	12						
三 学 期	1	2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化 第3編 波 第1章 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方 第3章 光	・気体の分子運動論や気体の状態変化について学ぶ。 ・波の基本法則について、具体的な事例を理解しながら学ぶ。 ・波の基本性質を踏まえて、音の伝わり方や生じる自然現象について学ぶ。 ・光の進み方や干渉など、具体的な性質について自然現象を踏まえながら学ぶ。	◎	○		○
	2						
	3						
評 価 の 方 法	①「関心・意欲・態度」：科学について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。						
	②「思考・判断・表現」：科学的な現象について考察し、導き出した考えを表現している。						
	③「観察・実験の技能」：観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。						
	④「知識・理解」：科学的な現象について理解し、知識を身に付けている。						
以上4つの観点を考慮しながら、成績は定期考査の得点に平常点（学習態度、課題、小テスト、ノート等）を加味して100点満点で算出する。学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出する。							
備 考	年度の前半は物理基礎の授業を実施する。						